



第7回ホームホスピス全国合同研修会

〈暮らしの中で“死にゆく”こと〉in 仙台

2018年12月1日(土)

~12月2日(日)

〈会場〉

APA ホテル TKP 仙台駅北

宮城県仙台市宮城野区名掛丁 201-1

JR 東北新幹線「仙台駅」から徒歩5分
在来線

□参加費 両日参加 5,000 円

12月1日のみ参加 2,500 円

12月2日のみ参加 3,500 円

地域で生きる 地域を変える

「いのちの輝き」を支える

1 日(土) 〈12:30~ 受付開始〉

I 部 13:00~14:00 **制度にない制度を考える** 生活困窮者支援から
〈基調講演〉 ホームホスピスへのメッセージ
奥田 知志 (八幡バプテスト教会牧師 / NPO 法人ホームレス支援全国ネット代表)

14:15~16:30 〈シンポジウム〉 **地域で生きる 地域を変える**
飯田 大輔 ((株)恋する豚研究所 代表取締役) 田中 康裕 (NPO 法人 IBASHO Japan 副理事長)
立岡 学 (NPO 法人ワンファミリー理事長)
〈コメンテーター〉奥田 知志 〈コーディネーター〉市原 美穂

II 部

16:40~17:40 **東日本のホームホスピスのいま**
「にじいろのいえ」でお母さんを看取ったご家族の話

18:30~ **懇親会** 於) ガーデンシティ仙台

2 日(日) 〈9:30~ 受付開始〉

10:00~11:00 **「いのちの輝き」を支える** 納得できる死をどうつくるか
〈記念講演 -1〉 鎌田 實 (諏訪中央病院名誉院長、日本チェルノブイリ連帯基金理事長、地域包括ケア研究所所長他)

11:10-12:10 **在宅医からみた福島の実状と課題**
〈記念講演 -2〉 鈴木 信行 (鈴木医院院長)

13:00-14:00 **人生の最終段階における医療・ケアの**
〈教育講演 -1〉 **決定プロセスに関するガイドライン** 武田 俊彦
(前厚生労働省医政局長)

14:10-15:10 **本人・家族の意思決定支援**
〈教育講演 -2〉 **—— 尊厳ある生を実現させるために** 清水 哲郎
(岩手保健医療大学学長・哲学者)

主催 一般社団法人 全国ホームホスピス協会

後援予定 (一財) 高齢者住宅財団 / 日本死の臨床研究会 / 日本ホスピス・在宅ケア研究会
北海道東北臨床宗教師協会

運営 (一社) 全国ホームホスピス協会事務局 / 東日本支部

第7回全国ホームホスピス合同研修会実行委員会事務局 ホームホスピスにじいろのいえ

お問合せ TEL 0985-65-8087 / FAX 0985-53-6054 <https://www.homehospice-jp.org>



For Social Innovation

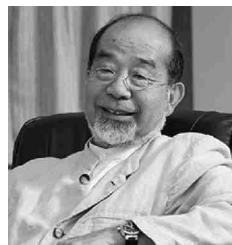
講師、パネリスト紹介



Okuda Tomoshi

奥田 知志 東八幡キリスト教会牧師

1963年生まれ。関西学院、西南学院大学それぞれ神学部卒業。九州大学大学院博士課程単位取得。1990年、東八幡キリスト教会牧師として赴任。学生時代から続けるホームレス支援のボランティアを教会の課題としても継続し、北九州市において3100人以上のホームレスの人々を自立に導いた。NPO法人「抱樸」理事長。受賞歴、著書多数。



Kamata Minoru

鎌田 實 医師、作家

東京医科歯科大学医学部卒業後、長野県・諏訪中央病院へ赴任し、健康づくり運動を実践。長野県は長寿日本一、医療費の安い地域となった。現在も往診と緩和ケアの回診を行っている。日本チェルノブイリ連帯基金、日本-イラク・メディカルネットを設立、海外で医療活動を精力的に行う一方東北の被災者支援にいち早く取り組む等多方面で社会活動を行う。著書多数。



Iida Daisuke

飯田 大輔 (株)恋する豚研究所代表取締役

1978年生まれ。東京農業大学農学部卒業。千葉大学大学院人文社会科学部研究科修了。2001年、(福)福祉楽団を設立。経営する介護施設では終末期ケアに積極的に取り組んでいる。現在は豚肉の加工・販売を行う「恋する豚研究所」、団地のケアオフィス「地域ケアよしかわ」など特徴的な事業を展開。高齢者や障害のある人とともに地域の産業や自然も含めたケアのあり方を実践している。



Suzuki Nobuyuki

鈴木 信行 鈴木医院院長

1979年、岩手医科大学大学院博士課程修了。岩手県高次救急センター講師、福島県立医科大学泌尿器科などを経て1987年、鈴木医院院長就任。2007年より同理事長就任。「在宅ホスピスケアネット福島」世話人、がんピアネットふくしま理事など役職多数。在宅医療、とくに在宅ホスピスケアの普及に努め、「安心して死ぬる福島」作りを活動目標としている。



Tanaka Yasuhiro

田中 康裕 NPO法人Ibasho Japan副理事長

2007年、大阪大学大学院工学研究科建築工学専攻博士課程修了、博士。近年各地に開かれている「まちの居場所」、計画された住宅地(ニュータウン)におけるアーカイブ作りなどの研究・実践を行う。清水建設技術研究所の研究員等を経て、2013年より「居場所ハウス」(岩手県大船渡市)の運営・調査に携わる。2015年よりNPO法人Ibasho Japan副理事長。



Takeda Toshihiko

武田 俊彦 前厚生労働省医政局長

1959年岩手県生まれ。1983年東京大学法学部卒、同年厚生省入省。保険局国民健康保険課長、医政局政策医療課長、保険局総務課長等主に医療分野・医療保険分野を担当し、さらに社会保障担当参事官として、社会保障・税一体改革を担当。消防庁審議官、大臣官房審議官、政策統括官、医薬・生活衛生局長、2017年医政局長を経て2018年7月末退職。



Tachioka Manabu

立岡 学 NPO法人ワンファミリー理事

1973年生まれ。2002年、ワンファミリー仙台を設立。路上生活者、生活困窮者など社会的弱者の社会復帰のための支援事業を始め、2008年にNPO法人化し理事長に就任。2011年、一般社団法人パーソナルサポートセンターを設立し、業務執行常務理事に就任。東日本大震災の被災者、生活困窮者の支援事業に取り組んでいる。



Shimizu Tetsuro

清水 哲郎 岩手保健医療大学学長

1947年生まれ。東京大学理学部卒、東京都立大学大学院にて哲学専攻。文学博士。北海道大学助教授、東北大学教授、東京大学特任教授等を経て、2017年より現職。妻の闘病を機に医療現場へ関心を寄せ、臨床倫理および臨床死生学の実践的研究を進める。『医療現場に臨む哲学』『医療・介護のための死生学入門』等著書多数。

FAX 0985-53-6054

参加申込書 (申込み 8月20日 - 11月10日)

参加に○してください。

両日参加

1日のみ参加

2日のみ参加

お名前

住所

(○をつけてください) 自宅 / 勤務先

所属

電話(携帯) / FAX

懇親会 (5,500円)

参加 / 不参加

2日昼 お弁当 (1,100円。 ○をつけてください)

要 / 不要

上記にご記入の上、FAXして下さい。e-mailでお申込みの方は、上記の要項をご記入の上、お申し込みください。10月1日以降に、事務局より振り込み口座などお知らせします。

なお、各会場とも定員があります。勝手ながら、参加希望者数が定員になり次第、締め切らせていただきます。

〈お問合せ先〉

一般社団法人全国ホームホスピス協会事務局 〒880-0913 宮崎市恒久 2-19-6

TEL 0985-65-8087 (月~金 / 10:00-17:00) FAX 0985-53-6054 e-mail info@homehospice-jp.org